

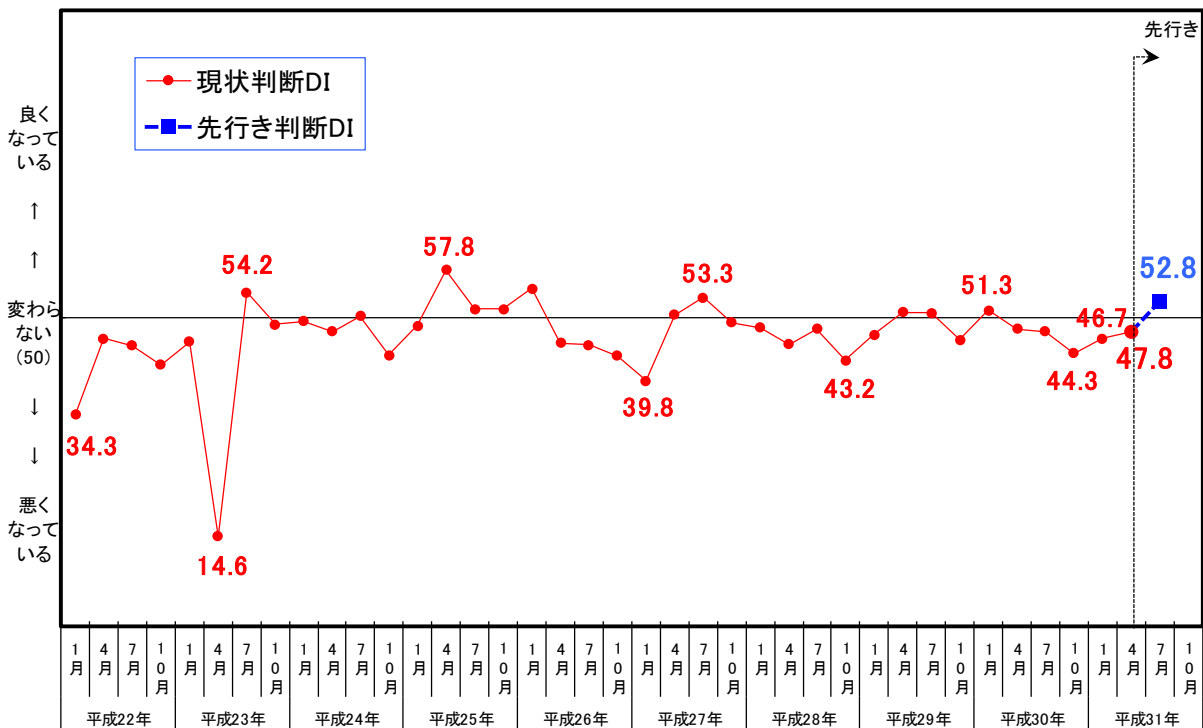
青森県景気ウォッチャー調査 (平成31年4月期)

調査期間 平成31年4月1日～4月19日 回答率100%

概況

4月期の景気の現状判断DIは47.8となり、5期連続で50を下回った。
先行き判断DIは、現状判断DIと比べて5.0ポイント増加の52.8となった。

景気現状判断DIの推移・今後の先行き判断DI



平成31年4月

青森県企画政策部統計分析課

1. 結果概要

(1) 3カ月前と比べた景気の現状判断DI

① 県全体の動向

前期調査と比べると、「良くなっている」が増減なし、「やや良くなっている」が1.2ポイント減少、「変わらない」が4.5ポイント増加、「やや悪くなっている」が1.3ポイント減少、「悪くなっている」が2.0ポイント減少により、全体では1.1ポイント増加の47.8となり、景気の横ばいを示す50を5期連続で下回った。

判断理由では、春到来による客足の活性化や、改元による祝賀ムードの高揚などのプラス面がある一方で、人件費を始めとするコストの上昇、食料品等の値上げ、節約志向の高まりによる客単価減少などといったマイナス面をあげる声があった。

② 分野別の動向

前期調査と比べて、家計関連全体で1.0ポイント減少、企業関連で6.9ポイント増加、雇用関連で7.1ポイント増加した。

③ 地区別の動向

前期調査と比べて、東青地区、津軽地区で増加し、県南地区で増減なしとなり、下北地区で減少した。DIは、津軽地区で景気の横ばいを示す50となり、他の3地区では50を下回った。

(2) 3カ月後の景気の先行き判断DI

① 県全体の動向

前期調査と比べると、「良くなる」が2.0ポイント増加、「やや良くなる」が9.8ポイント増加、「変わらない」が8.5ポイント減少、「やや悪くなる」が1.2ポイント減少、「悪くなる」が2.1ポイント減少により、全体では4.8ポイント増加の52.8となり、景気の横ばいを示す50を3期ぶりに上回った。

判断理由では、改元に伴う祝賀ムードの高揚や、大型連休への期待感、消費税増税前の駆け込み需要などのプラス面をあげる声があった一方で、増税後の消費の冷え込みや、人手不足の継続によるコストの上昇などを懸念する声があった。

② 分野別の動向

前期調査と比べて、家計関連全体で4.4ポイント増加、企業関連で11.1ポイント増加、雇用関連で7.1ポイント減少した。家計関連では特に小売で大きく増加した。

③ 地区別の動向

前期調査と比べて、全地区でポイントが増加した。DIは、東青、津軽、県南の3地区で50を上回った。

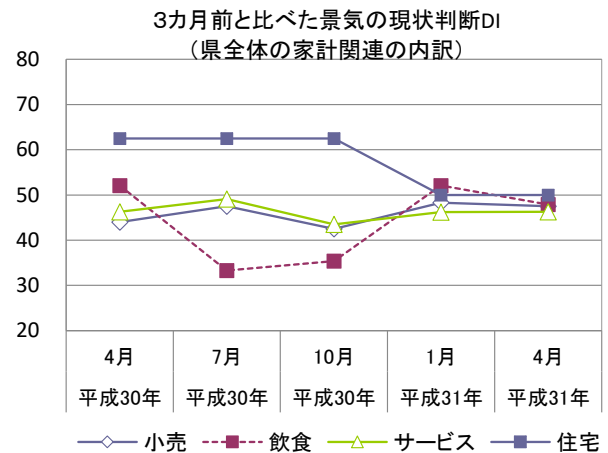
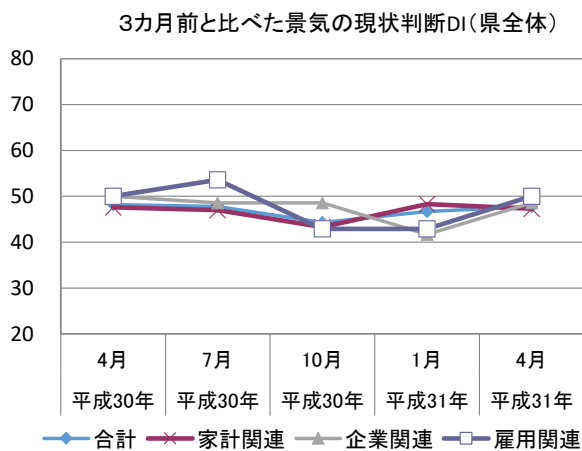
2. 県全体の動向

(1) 3カ月前と比べた景気の現状判断

①DI

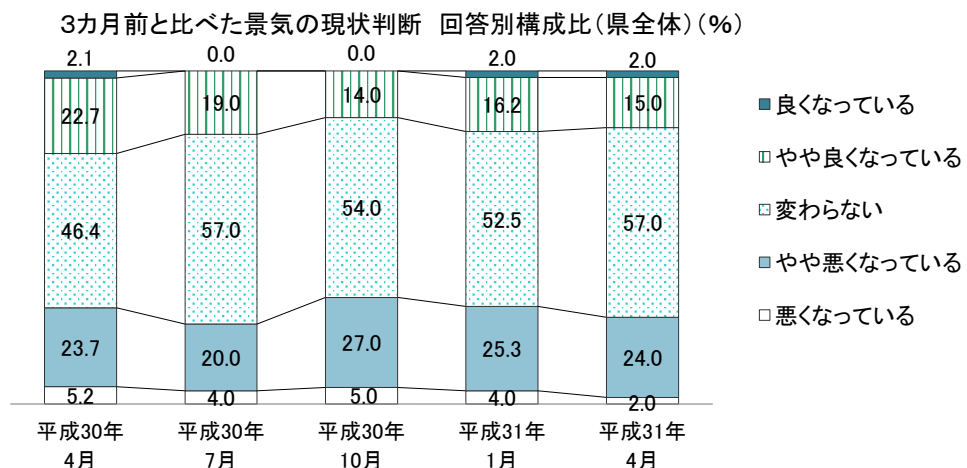
n= 100

	平成30年 4月	平成30年 7月	平成30年 10月	平成31年 1月	平成31年 4月	前期調査 との差
合 計	48.2	47.8	44.3	46.7	47.8	1.1
家計関連	47.6	47.0	43.3	48.3	47.3	▲ 1.0
小売	44.0	47.5	42.5	48.3	47.5	▲ 0.8
飲食	52.1	33.3	35.4	52.1	47.9	▲ 4.2
サービス	46.3	49.1	43.5	46.2	46.3	0.1
住宅	62.5	62.5	62.5	50.0	50.0	0.0
企業関連	50.0	48.6	48.6	41.7	48.6	6.9
雇用関連	50.0	53.6	42.9	42.9	50.0	7.1



②回答別構成比 (%)

	平成30年 4月	平成30年 7月	平成30年 10月	平成31年 1月	平成31年 4月	前期調査 との差
良くなっている	2.1	0.0	0.0	2.0	2.0	0.0
やや良くなっている	22.7	19.0	14.0	16.2	15.0	▲ 1.2
変わらない	46.4	57.0	54.0	52.5	57.0	4.5
やや悪くなっている	23.7	20.0	27.0	25.3	24.0	▲ 1.3
悪くなっている	5.2	4.0	5.0	4.0	2.0	▲ 2.0



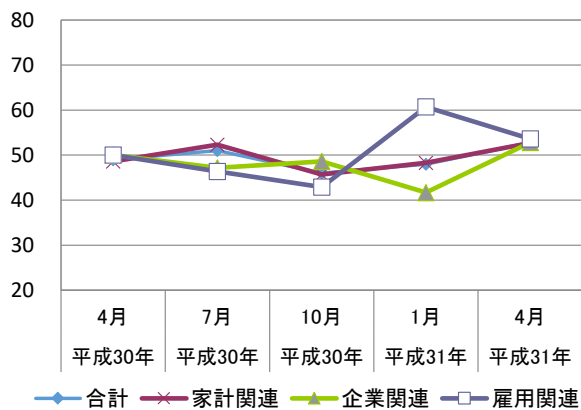
(2) 3カ月後の景気の先行き判断

①DI

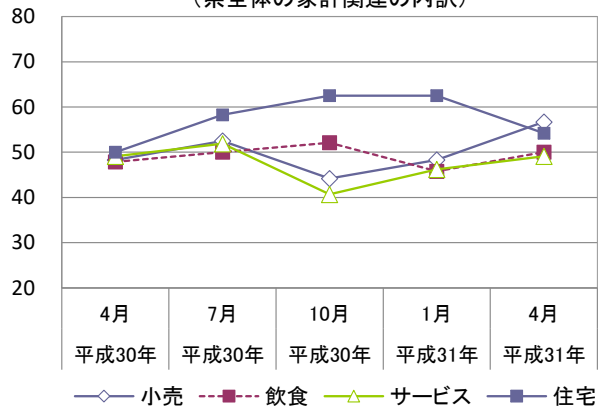
n = 100

	平成30年 4月	平成30年 7月	平成30年 10月	平成31年 1月	平成31年 4月	前期調査 との差
合 計	49.0	51.0	46.0	48.0	52.8	4.8
家計関連	48.6	52.3	45.7	48.3	52.7	4.4
小売	48.3	52.5	44.2	48.3	56.7	8.4
飲食	47.9	50.0	52.1	45.8	50.0	4.2
サービス	49.1	51.9	40.7	46.2	49.1	2.9
住宅	50.0	58.3	62.5	62.5	54.2	▲ 8.3
企業関連	50.0	47.2	48.6	41.7	52.8	11.1
雇用関連	50.0	46.4	42.9	60.7	53.6	▲ 7.1

3カ月後の景気の先行き判断DI(県全体)



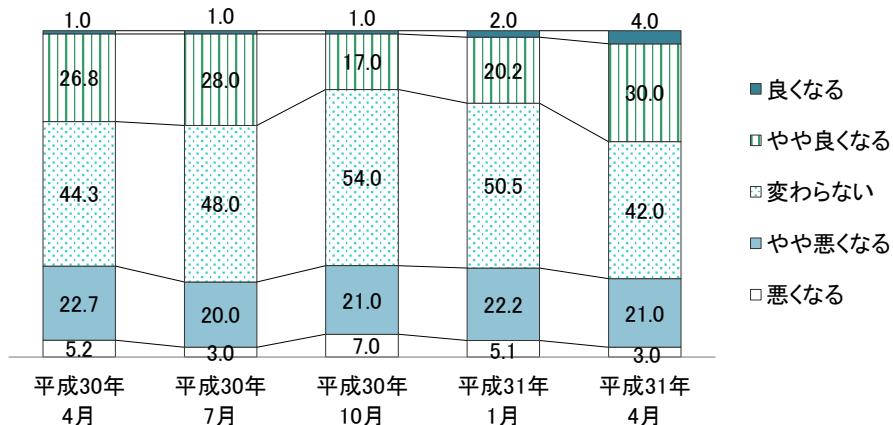
3カ月後の景気の先行き判断DI
(県全体の家計関連の内訳)



②回答別構成比 (%)

	平成30年 4月	平成30年 7月	平成30年 10月	平成31年 1月	平成31年 4月	前期調査 との差
良くなる	1.0	1.0	1.0	2.0	4.0	2.0
やや良くなる	26.8	28.0	17.0	20.2	30.0	9.8
変わらない	44.3	48.0	54.0	50.5	42.0	▲ 8.5
やや悪くなる	22.7	20.0	21.0	22.2	21.0	▲ 1.2
悪くなる	5.2	3.0	7.0	5.1	3.0	▲ 2.1

3カ月後の景気の先行き判断 回答別構成比(県全体)(%)



3. 地区別の動向

※下北地区については、サンプル数が少ないため、参考値とする。

(1) 3カ月前と比べた景気の現状判断

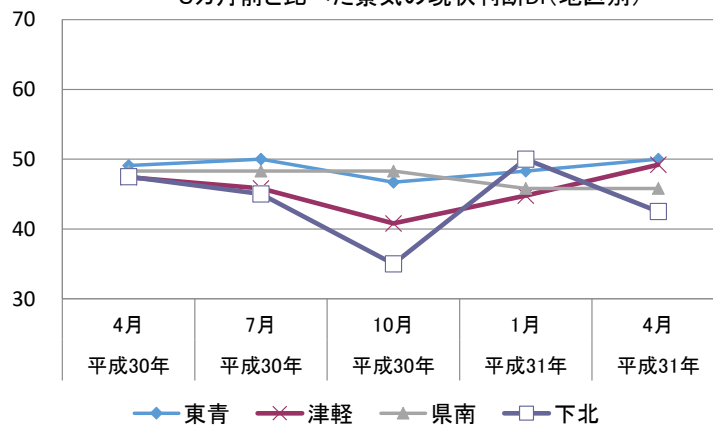
<地区別>

①DI

n = 100

	平成30年 4月	平成30年 7月	平成30年 10月	平成31年 1月	平成31年 4月	前期調査 との差
合 計	48.2	47.8	44.3	46.7	47.8	1.1
東青	49.1	50.0	46.7	48.3	50.0	1.7
津軽	47.4	45.8	40.8	44.8	49.2	4.4
県南	48.3	48.3	48.3	45.8	45.8	0.0
下北	47.5	45.0	35.0	50.0	42.5	▲ 7.5

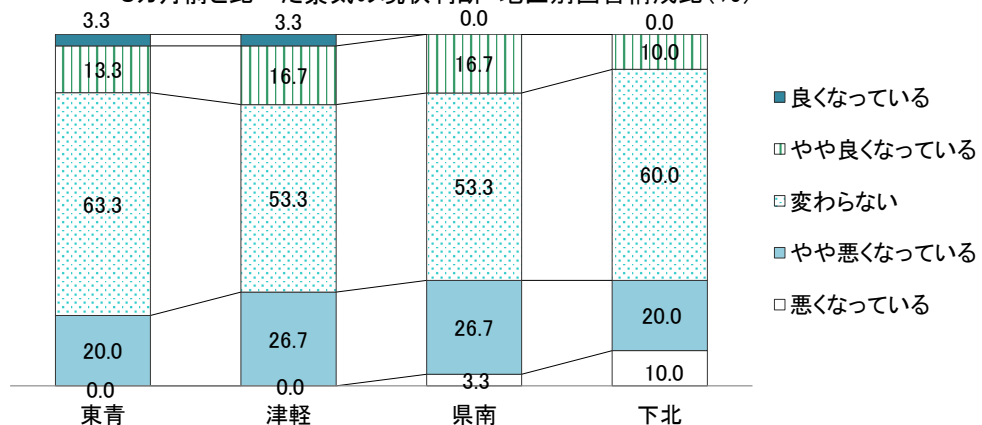
3カ月前と比べた景気の現状判断DI(地区別)



②地区別回答構成比 (%)

	東青	津軽	県南	下北
良くなっている	3.3	3.3	0.0	0.0
やや良くなっている	13.3	16.7	16.7	10.0
変わらない	63.3	53.3	53.3	60.0
やや悪くなっている	20.0	26.7	26.7	20.0
悪くなっている	0.0	0.0	3.3	10.0

3カ月前と比べた景気の現状判断 地区別回答構成比(%)



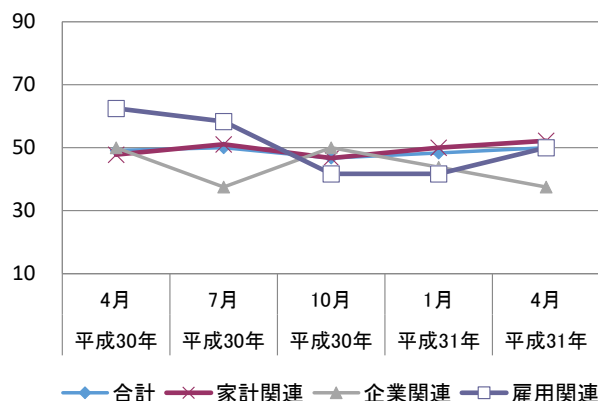
<東青地区>

①DI

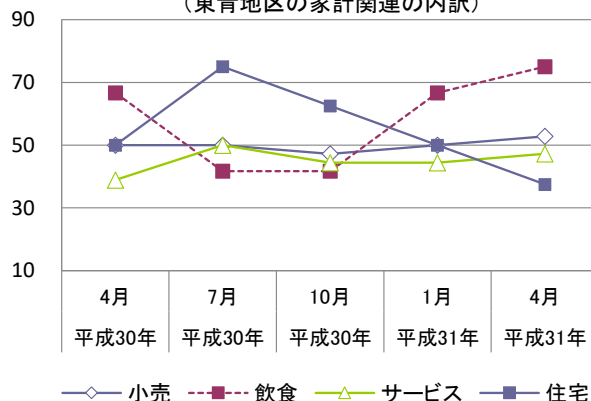
n= 30

	平成30年 4月	平成30年 7月	平成30年 10月	平成31年 1月	平成31年 4月	前期調査 との差
合 計	49.1	50.0	46.7	48.3	50.0	1.7
家計関連	47.8	51.1	46.7	50.0	52.2	2.2
小売	50.0	50.0	47.2	50.0	52.8	2.8
飲食	66.7	41.7	41.7	66.7	75.0	8.3
サービス	38.9	50.0	44.4	44.4	47.2	2.8
住宅	50.0	75.0	62.5	50.0	37.5	▲ 12.5
企業関連	50.0	37.5	50.0	43.8	37.5	▲ 6.3
雇用関連	62.5	58.3	41.7	41.7	50.0	8.3

3カ月前と比べた景気の現状判断DI(東青地区)



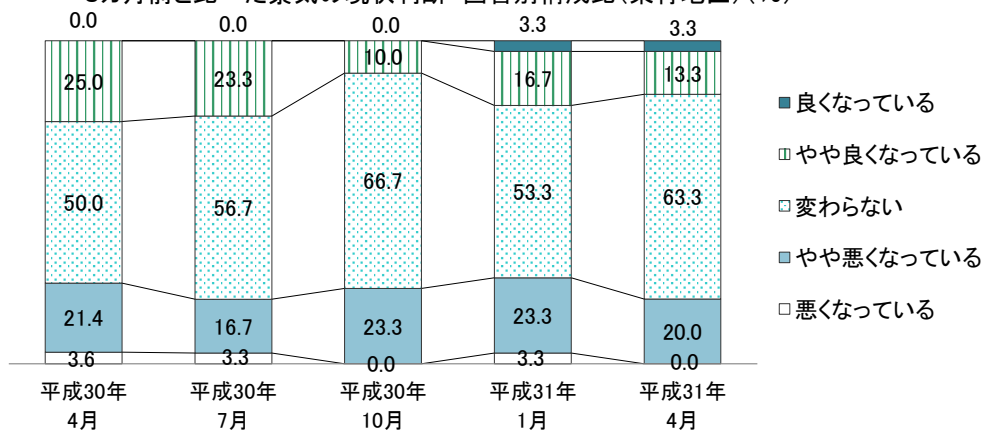
3カ月前と比べた景気の現状判断DI
(東青地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比 (%)

	平成30年 4月	平成30年 7月	平成30年 10月	平成31年 1月	平成31年 4月	前期調査 との差
良くなっている	0.0	0.0	0.0	3.3	3.3	0.0
やや良くなっている	25.0	23.3	10.0	16.7	13.3	▲ 3.4
変わらない	50.0	56.7	66.7	53.3	63.3	10.0
やや悪くなっている	21.4	16.7	23.3	23.3	20.0	▲ 3.3
悪くなっている	3.6	3.3	0.0	3.3	0.0	▲ 3.3

3カ月前と比べた景気の現状判断 回答別構成比(東青地区)(%)



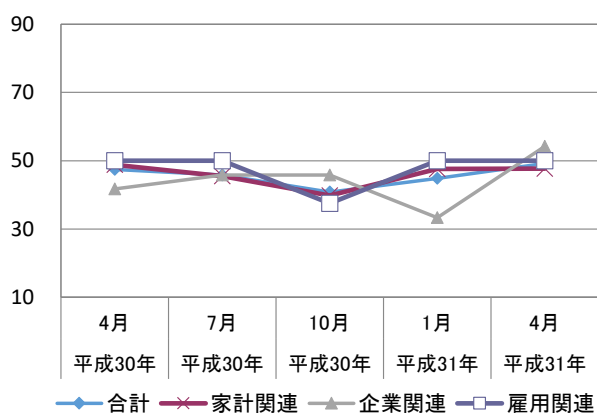
<津軽地区>

①DI

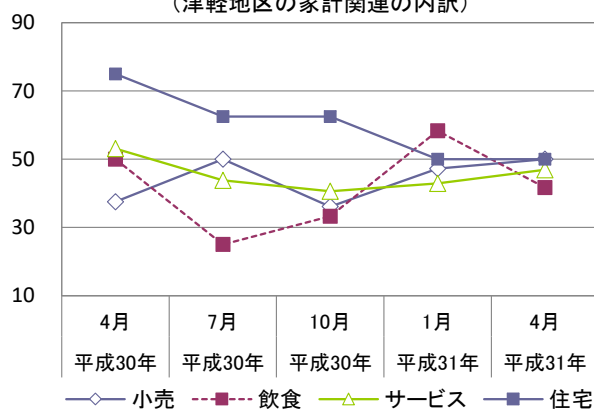
n=30

	平成30年 4月	平成30年 7月	平成30年 10月	平成31年 1月	平成31年 4月	前期調査 との差
合 計	47.4	45.8	40.8	44.8	49.2	4.4
家計関連	48.8	45.5	39.8	47.6	47.7	0.1
小売	37.5	50.0	36.1	47.2	50.0	2.8
飲食	50.0	25.0	33.3	58.3	41.7	▲16.6
サービス	53.1	43.8	40.6	42.9	46.9	4.0
住宅	75.0	62.5	62.5	50.0	50.0	0.0
企業関連	41.7	45.8	45.8	33.3	54.2	20.9
雇用関連	50.0	50.0	37.5	50.0	50.0	0.0

3カ月前と比べた景気の現状判断DI(津軽地区)



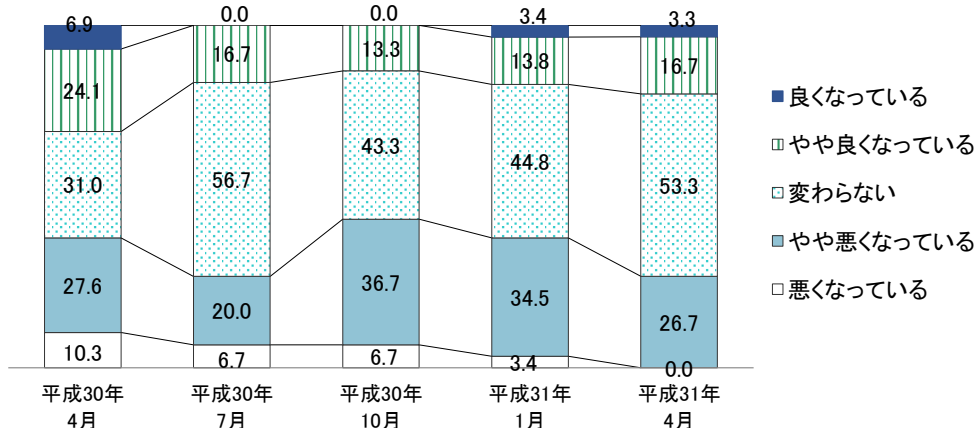
3カ月前と比べた景気の現状判断DI
(津軽地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比(%)

	平成30年 4月	平成30年 7月	平成30年 10月	平成31年 1月	平成31年 4月	前期調査 との差
良くなっている	6.9	0.0	0.0	3.4	3.3	▲0.1
やや良くなっている	24.1	16.7	13.3	13.8	16.7	2.9
変わらない	31.0	56.7	43.3	44.8	53.3	8.5
やや悪くなっている	27.6	20.0	36.7	34.5	26.7	▲7.8
悪くなっている	10.3	6.7	6.7	3.4	0.0	▲3.4

3カ月前と比べた景気の現状判断 回答別構成比(津軽地区)(%)



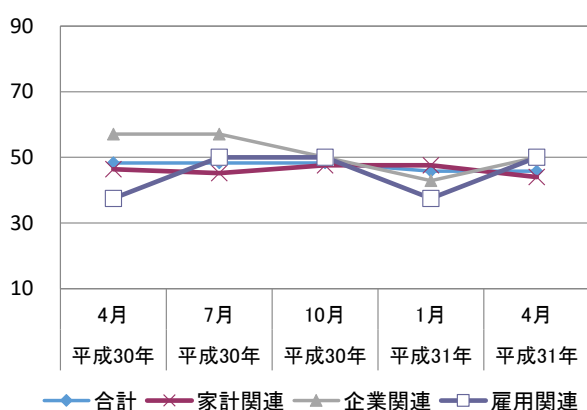
< 県南地区 >

① D I

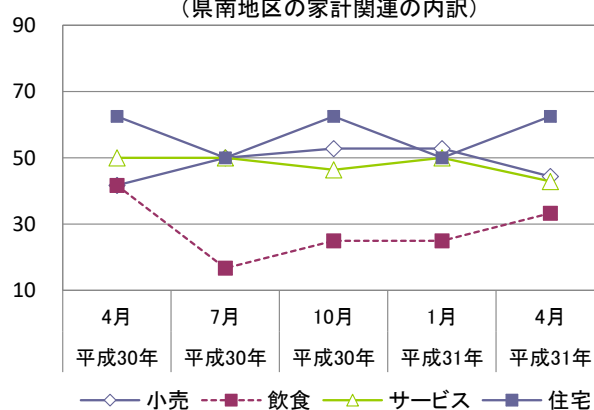
n = 30

	平成30年 4月	平成30年 7月	平成30年 10月	平成31年 1月	平成31年 4月	前期調査 との差
合 計	48.3	48.3	48.3	45.8	45.8	0.0
家計関連	46.4	45.2	47.6	47.6	44.0	▲ 3.6
小売	41.7	50.0	52.8	52.8	44.4	▲ 8.4
飲食	41.7	16.7	25.0	25.0	33.3	8.3
サービス	50.0	50.0	46.4	50.0	42.9	▲ 7.1
住宅	62.5	50.0	62.5	50.0	62.5	12.5
企業関連	57.1	57.1	50.0	42.9	50.0	7.1
雇用関連	37.5	50.0	50.0	37.5	50.0	12.5

3カ月前と比べた景気の現状判断DI(県南地区)



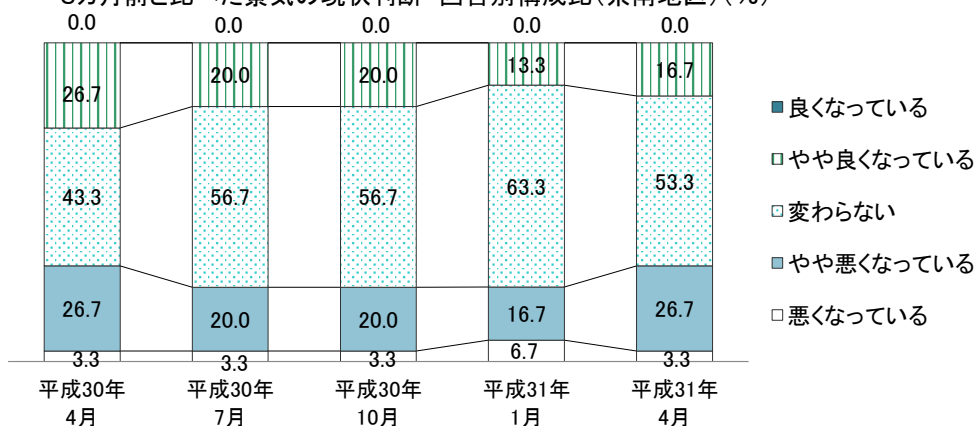
3カ月前と比べた景気の現状判断DI
(県南地区の家計関連の内訳)



② 回答別構成比 (%)

	平成30年 4月	平成30年 7月	平成30年 10月	平成31年 1月	平成31年 4月	前期調査 との差
良くなっている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	26.7	20.0	20.0	13.3	16.7	3.4
変わらない	43.3	56.7	56.7	63.3	53.3	▲ 10.0
やや悪くなっている	26.7	20.0	20.0	16.7	26.7	10.0
悪くなっている	3.3	3.3	3.3	6.7	3.3	▲ 3.4

3カ月前と比べた景気の現状判断 回答別構成比(県南地区)(%)

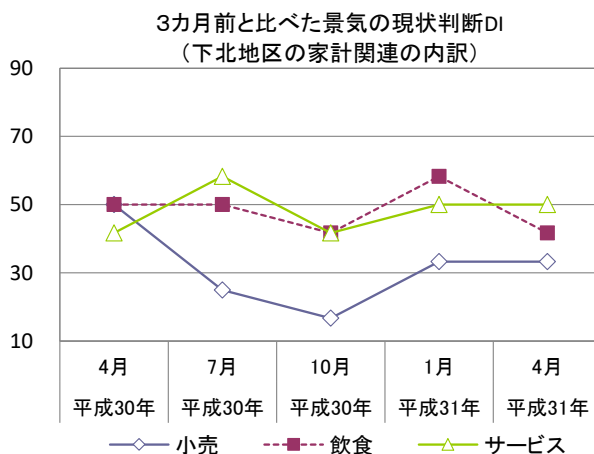
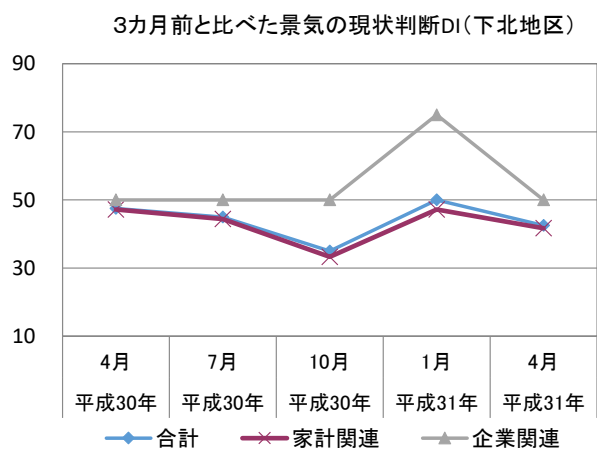


<下北地区> (参考)

①DI

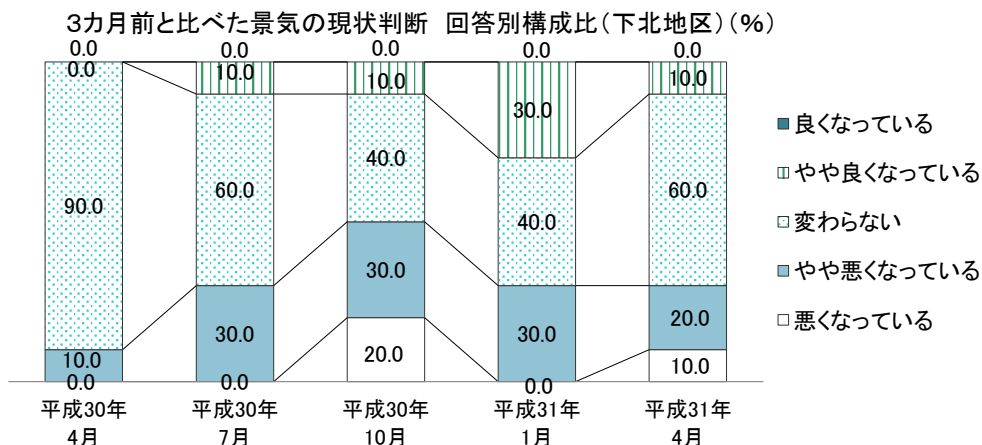
n= 10

	平成30年 4月	平成30年 7月	平成30年 10月	平成31年 1月	平成31年 4月	前期調査 との差
合 計	47.5	45.0	35.0	50.0	42.5	▲ 7.5
家計関連	47.2	44.4	33.3	47.2	41.7	▲ 5.5
小売	50.0	25.0	16.7	33.3	33.3	0.0
飲食	50.0	50.0	41.7	58.3	41.7	▲ 16.6
サービス	41.7	58.3	41.7	50.0	50.0	0.0
住宅	-	-	-	-	-	-
企業関連	50.0	50.0	50.0	75.0	50.0	▲ 25.0
雇用関連	-	-	-	-	-	-



②回答別構成比 (%)

	平成30年 4月	平成30年 7月	平成30年 10月	平成31年 1月	平成31年 4月	前期調査 との差
良くなっている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	0.0	10.0	10.0	30.0	10.0	▲ 20.0
変わらない	90.0	60.0	40.0	40.0	60.0	20.0
やや悪くなっている	10.0	30.0	30.0	30.0	20.0	▲ 10.0
悪くなっている	0.0	0.0	20.0	0.0	10.0	10.0



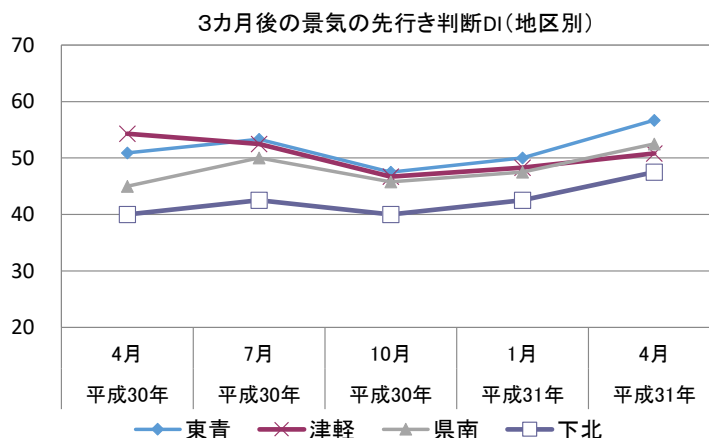
(2) 3カ月後の景気の先行き判断

<地区別>

①DI

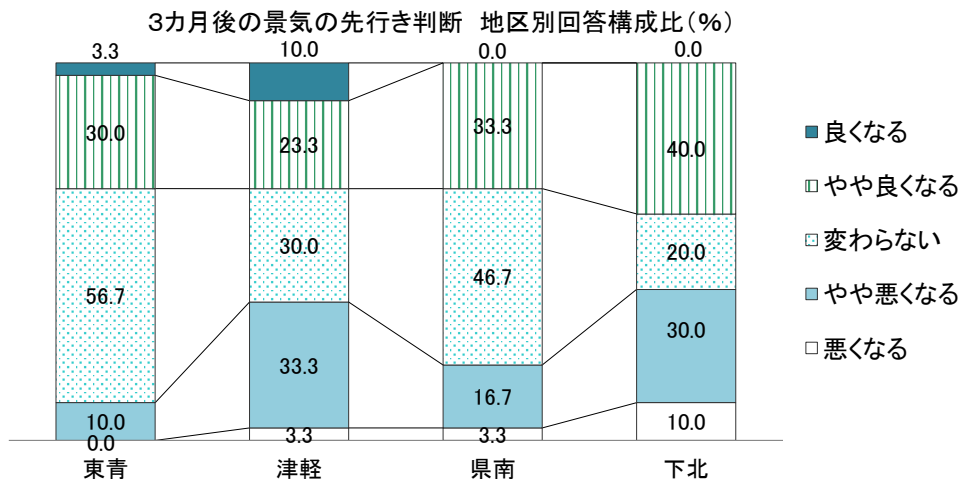
n= 100

	平成30年 4月	平成30年 7月	平成30年 10月	平成31年 1月	平成31年 4月	前期調査 との差
合 計	49.0	51.0	46.0	48.0	52.8	4.8
東青	50.9	53.3	47.5	50.0	56.7	6.7
津軽	54.3	52.5	46.7	48.3	50.8	2.5
県南	45.0	50.0	45.8	47.5	52.5	5.0
下北	40.0	42.5	40.0	42.5	47.5	5.0



②地区別回答構成比 (%)

	東青	津軽	県南	下北
良くなる	3.3	10.0	0.0	0.0
やや良くなる	30.0	23.3	33.3	40.0
変わらない	56.7	30.0	46.7	20.0
やや悪くなる	10.0	33.3	16.7	30.0
悪くなる	0.0	3.3	3.3	10.0



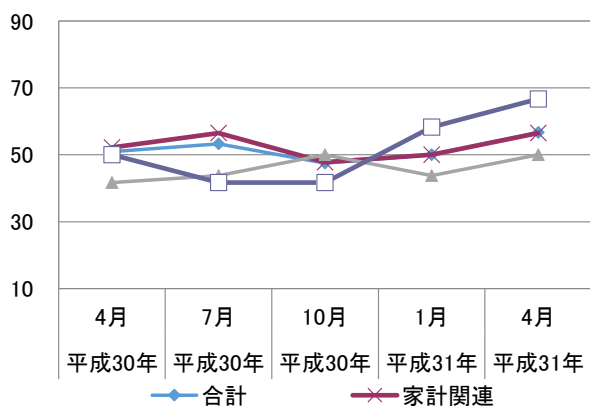
<東青地区>

①DI

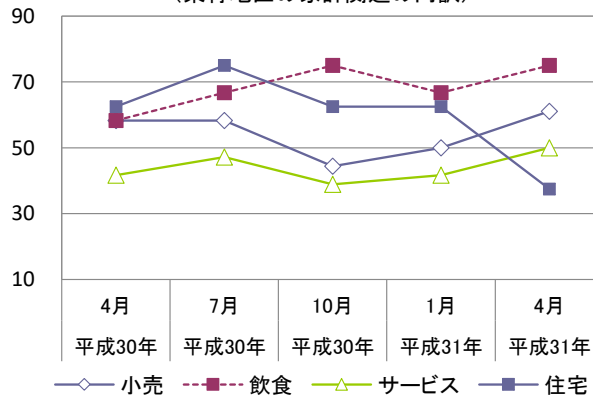
n = 30

	平成30年 4月	平成30年 7月	平成30年 10月	平成31年 1月	平成31年 4月	前期調査 との差
合計	50.9	53.3	47.5	50.0	56.7	6.7
家計関連	52.2	56.5	47.8	50.0	56.5	6.5
小売	58.3	58.3	44.4	50.0	61.1	11.1
飲食	58.3	66.7	75.0	66.7	75.0	8.3
サービス	41.7	47.2	38.9	41.7	50.0	8.3
住宅	62.5	75.0	62.5	62.5	37.5	▲ 25.0
企業関連	41.7	43.8	50.0	43.8	50.0	6.2
雇用関連	50.0	41.7	41.7	58.3	66.7	8.4

3カ月後の景気の先行き判断DI(東青地区)



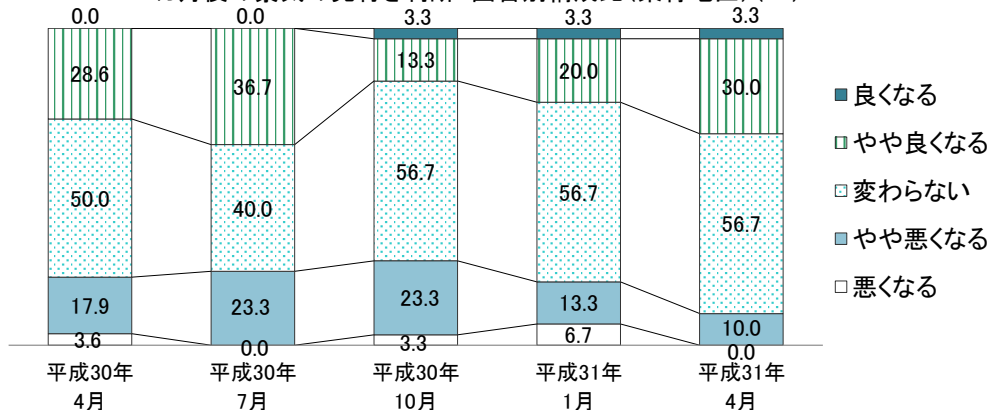
3カ月後の景気の先行き判断DI
(東青地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比 (%)

	平成30年 4月	平成30年 7月	平成30年 10月	平成31年 1月	平成31年 4月	前期調査 との差
良くなる	0.0	0.0	3.3	3.3	3.3	0.0
やや良くなる	28.6	36.7	13.3	20.0	30.0	10.0
変わらない	50.0	40.0	56.7	56.7	56.7	0.0
やや悪くなる	17.9	23.3	23.3	13.3	10.0	▲ 3.3
悪くなる	3.6	0.0	3.3	6.7	0.0	▲ 6.7

3カ月後の景気の先行き判断 回答別構成比(東青地区)(%)



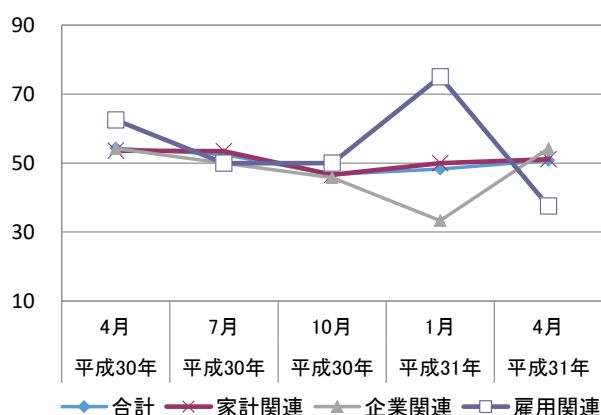
<津軽地区>

①DI

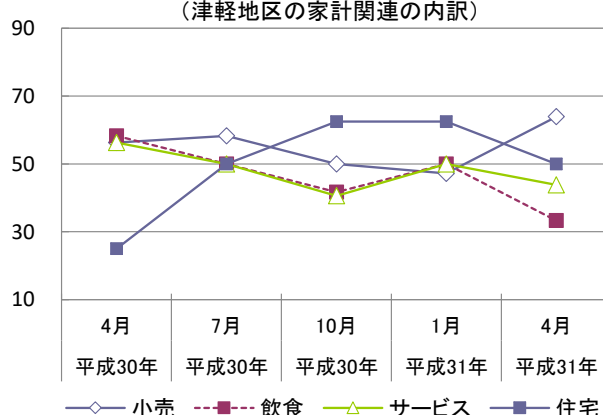
n=30

	平成30年 4月	平成30年 7月	平成30年 10月	平成31年 1月	平成31年 4月	前期調査 との差
合 計	54.3	52.5	46.7	48.3	50.8	2.5
家計関連	53.6	53.4	46.6	50.0	51.1	1.1
小売	56.3	58.3	50.0	47.2	63.9	16.7
飲食	58.3	50.0	41.7	50.0	33.3	▲ 16.7
サービス	56.3	50.0	40.6	50.0	43.8	▲ 6.2
住宅	25.0	50.0	62.5	62.5	50.0	▲ 12.5
企業関連	54.2	50.0	45.8	33.3	54.2	20.9
雇用関連	62.5	50.0	50.0	75.0	37.5	▲ 37.5

3カ月後の景気の先行き判断DI(津軽地区)



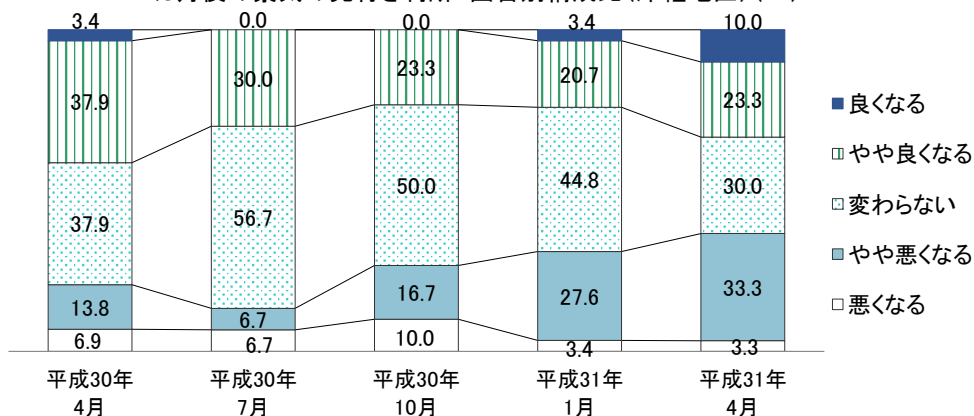
3カ月後の景気の先行き判断DI
(津軽地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比 (%)

	平成30年 4月	平成30年 7月	平成30年 10月	平成31年 1月	平成31年 4月	前期調査 との差
良くなる	3.4	0.0	0.0	3.4	10.0	6.6
やや良くなる	37.9	30.0	23.3	20.7	23.3	2.6
変わらない	37.9	56.7	50.0	44.8	30.0	▲ 14.8
やや悪くなる	13.8	6.7	16.7	27.6	33.3	5.7
悪くなる	6.9	6.7	10.0	3.4	3.3	▲ 0.1

3カ月後の景気の先行き判断 回答別構成比(津軽地区) (%)



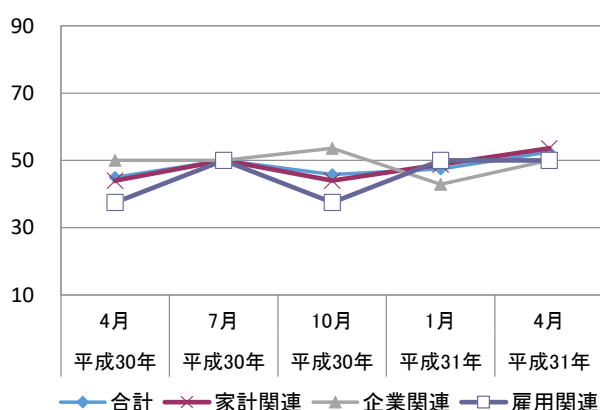
< 県南地区 >

① D I

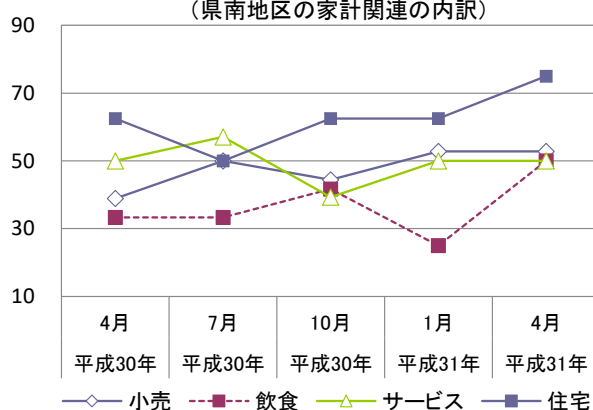
n = 30

	平成30年 4月	平成30年 7月	平成30年 10月	平成31年 1月	平成31年 4月	前期調査 との差
合 計	45.0	50.0	45.8	47.5	52.5	5.0
家計関連	44.0	50.0	44.0	48.8	53.6	4.8
小売	38.9	50.0	44.4	52.8	52.8	0.0
飲食	33.3	33.3	41.7	25.0	50.0	25.0
サービス	50.0	57.1	39.3	50.0	50.0	0.0
住宅	62.5	50.0	62.5	62.5	75.0	12.5
企業関連	50.0	50.0	53.6	42.9	50.0	7.1
雇用関連	37.5	50.0	37.5	50.0	50.0	0.0

3カ月後の景気の先行き判断DI(県南地区)



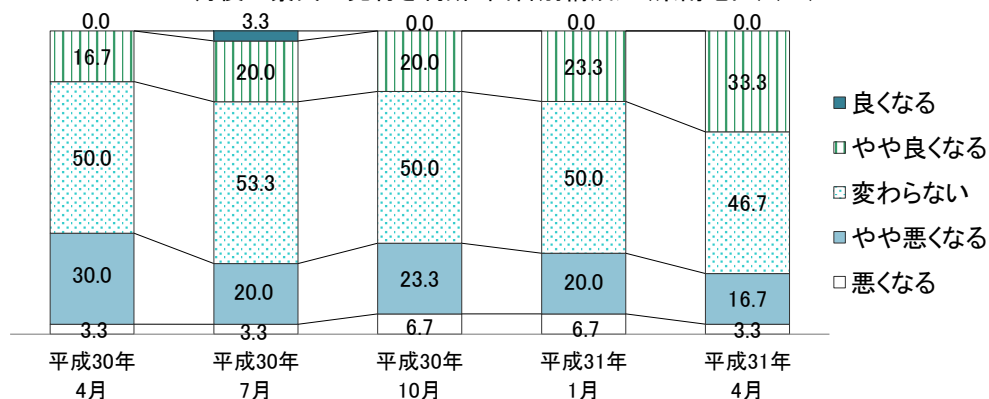
3カ月後の景気の先行き判断DI
(県南地区の家計関連の内訳)



② 回答別構成比 (%)

	平成30年 4月	平成30年 7月	平成30年 10月	平成31年 1月	平成31年 4月	前期調査 との差
良くなる	0.0	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	16.7	20.0	20.0	23.3	33.3	10.0
変わらない	50.0	53.3	50.0	50.0	46.7	▲ 3.3
やや悪くなる	30.0	20.0	23.3	20.0	16.7	▲ 3.3
悪くなる	3.3	3.3	6.7	6.7	3.3	▲ 3.4

3カ月後の景気の先行き判断 回答別構成比(県南地区)(%)



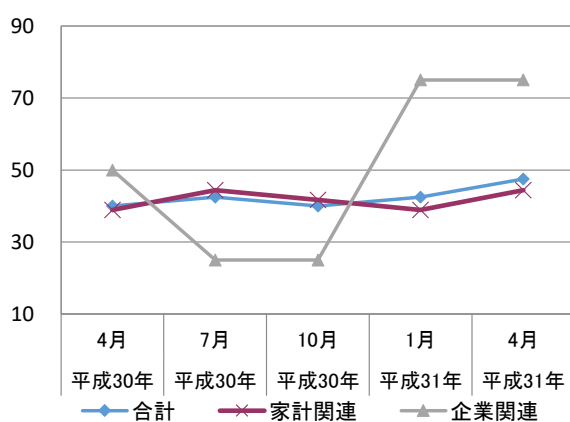
<下北地区> (参考)

①DI

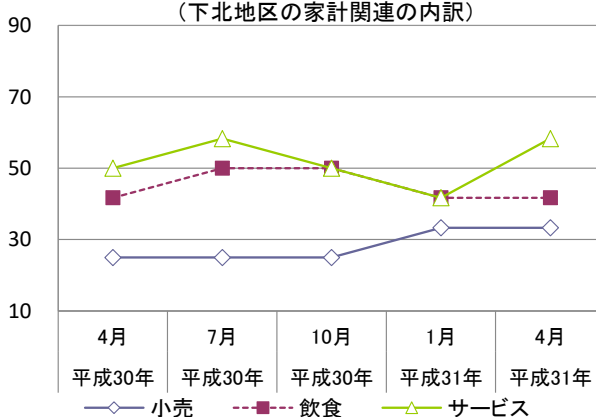
n = 10

	平成30年 4月	平成30年 7月	平成30年 10月	平成31年 1月	平成31年 4月	前期調査 との差
合 計	40.0	42.5	40.0	42.5	47.5	5.0
家計関連	38.9	44.4	41.7	38.9	44.4	5.5
小売	25.0	25.0	25.0	33.3	33.3	0.0
飲食	41.7	50.0	50.0	41.7	41.7	0.0
サービス	50.0	58.3	50.0	41.7	58.3	16.6
住宅	-	-	-	-	-	-
企業関連	50.0	25.0	25.0	75.0	75.0	0.0
雇用関連	-	-	-	-	-	-

3カ月後の景気の先行き判断DI(下北地区)



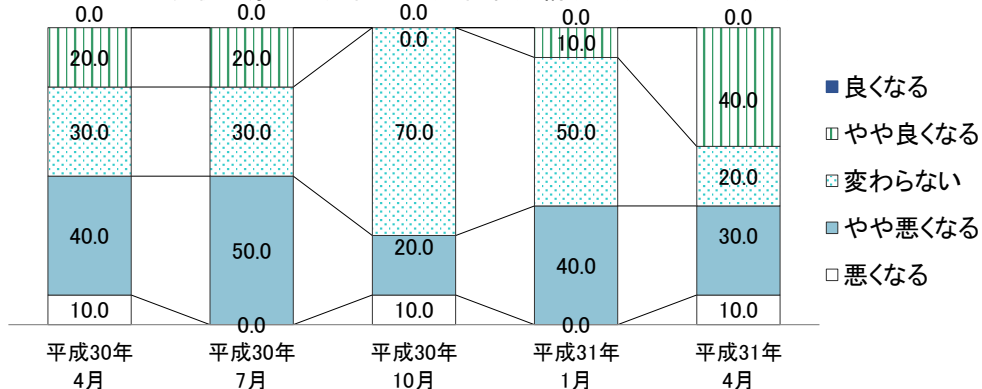
3カ月後の景気の先行き判断DI
(下北地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比 (%)

	平成30年 4月	平成30年 7月	平成30年 10月	平成31年 1月	平成31年 4月	前期調査 との差
良くなる	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	20.0	20.0	0.0	10.0	40.0	30.0
変わらない	30.0	30.0	70.0	50.0	20.0	▲ 30.0
やや悪くなる	40.0	50.0	20.0	40.0	30.0	▲ 10.0
悪くなる	10.0	0.0	10.0	0.0	10.0	10.0

3カ月後の景気の先行き判断 回答別構成比(下北地区)(%)



4. 判断理由

(1) 景気の現状判断理由

現状	分野	地区	業種	理由	
良くなっている	家計	東青	一般飲食店	2月は天候のせいで少し出控えていたが、3月からは例年よりお客さんの流れが多いように思いました。4月も景気は悪くないと思うように感じています。	
		津軽	一般小売店	1～3月は前年に比べ2桁近い伸びだったので。	
やや良くなっている	家計	東青	コンビニ	春に向けて天候が良く外に出る事が多くなっている為。	
			衣料専門店	お客様の購買動向、入店時の第一声、顔色等から確実に良くなっていると感じる。	
			レストラン	やはり、冬場の間は客の出足も落ちる。	
			旅行代理店	新元号も決まり、連休も控えて世の中が盛り上がっている様子。	
		津軽	一般飲食店	春に向かって気温が上がっている分、人が外に出ている。	
			観光型ホテル・旅館	GW10連休の為。	
			住宅建設販売	消費税upの10月前に建築を考えている人の動きが好調。	
		県南	衣料専門店	天候要因があるとき以外は、回復してきている。一部衣料品では商品によっては販売点数が回復してきている。	
			卸売業	働き方改革や最低賃金の上昇、人手不足により、ある程度会社側と従業員側では従業員側に有利になっていると思う。	
			住宅建設販売	消費税増税前の駆け込み需要。	
		下北	コンビニ	暖かくなってきたから。	
		企業	津軽	電気機械製造	コネクタ製品(スマホ部品)2019年度モデルの生産がスタートしているため。
			県南	広告・デザイン	様々な企業が本業以外のジャンルに進出したり、新規参入をする状況があり、その際に必要となる販促物等の準備をすることで仕事が増えた。
雇用	県南	新聞社求人広告	新元号の発表があり、八戸圏域版DMOの発足があり、活気があるように思う。		
変わらない	家計	東青	百貨店	売上が前年対比で3カ月前と変化がない。	
			スーパー	1、2月が特に良くなかったが、今より良くなる理由が見当たらない。	
			乗用車販売	売上にあまり変化が見られない。	
			一般小売店	浮揚材料不足。	
			卸売業	売上が伸びない。各納品先別に見ても伸びていない。前年クリアが厳しい。	
			スナック	3月は送別会の時期なので客足が良かったが、4月に入ってから急に静かになった。	
			観光型ホテル・旅館	客数は前年並みながら前年の台湾チャーター便の反動がありインバウンドは久しぶりに減少。	
			都市型ホテル	業況は例年と変わらないが景気が良いとは感じられない。	
			タクシー	ごく一部繁盛している店舗もあるようだがそれも一時的なもので、全般的に外食部門が極端に低迷しており、人々は外に出ないでいるように感じられる。夜は特にだが、ランチ時の店舗にも空席が目立つ。	
			美容院	年長者の方が多いので来店する時間が長い。	
			パチンコ	良い日もあるが続かない。	

現状	分野	地区	業種	理由
変わらない	家計	東青	ガソリンスタンド	非正規労働者の時給は上昇しているものの、正社員の所得は変化なく、個人消費につながっていない。
			設計事務所	積雪も少なく平穩に季節が過ぎ身の廻りに景気に係る衝撃もなく経過した。
		津軽	コンビニ	冬期間は、ひまな時期。これから本当の春になってほしい。
			商店街	春休みもあり学生の来街数は増えたものの、3月中旬以降の悪天候続きによりトータルでみると、来街者数は減った。
			都市型ホテル	北東北、日本海側の景気が上がらず、その影響が出ている。
			パチンコ	特に変化がないから。
		県南	スーパー	同業他社、自社含めオーバーストアでありながら、コンビニ、ドラッグストア等もまた過剰な出店で、同業、異業種含め、取り合い、取られ合いの競争が更に熾烈になる。
			家電量販店	1つは少子高齢化で客数が減っている。今は単価UPで売上が前年を少し超えているが、消費税引き上げの前の購入も出てきている。9月までは今の状況より少しは良くなると思うが、その後は厳しくなる事を含めての回答。
			商店街	やや上向き傾向にあったと思うが、4月に入って気温が異常に低いため。
			スナック	外部の人が入ってきているので、八戸の人は変わらない。
	旅行代理店		団体売上が好調を持続しているの。	
	美容院		来店回数が少なくなっている事と、購買力が減っています。外出機会が減っているせいかもしれません。	
	ガソリンスタンド		原油価格が上昇局面に入り、燃料の価格が上昇し、物価への影響が懸念されるが、目立って消費抑制などの動きが感じられないことから。	
	設計事務所	忙しい割にお金に対する価値観がシビアになっているように感じています。		
	下北	一般飲食店	むつ市は人がいないような気がしています。お店はPM9:00までやっているのですが、夕方6時を過ぎると誰も歩いていません。	
		都市型ホテル	歓送迎会の宴会は件数も若干増え、売上も伸ばしたものの、宿泊客が予想より落ち込み、全体としては前年並です。	
		ガソリンスタンド	特に何も変わってない感じです。コンビニやドラッグストアは増えて、地域の経済は悪くなっているような気がします。	
	企業	東青	広告・デザイン	広告出稿面では変わらない。ただし、改元に向けてムードとしては明るくなってきている。
			津軽	食料品製造
		津軽	経営コンサルタント	冬場は例年通りという印象でした。インバウンドは多少はあるけれど、逆に売上が昨年よりかなり落ちている店もある。
広告・デザイン			売上高等、工事が増加していない。	
県南			食料品製造	可処分所得の上昇が期待出来ない中で食料品など必需品の値上げが続き、消費マインドが停滞しているから。
県南		飲料品製造	季節商品などの動きも限定的で、定番商品などの動きも鈍い。飲食店等得意先などの単価なども上がらないままである。	
		建設	どの業種も人手不足で雇用の為無理して賃上げをしているが効果はない。閉店していく店も多く見受けられ、景気上昇の材料は何ひとつない。	
		経営コンサルタント	中小企業にとっては、働き方改革は痛手です。景気としては、雇用状況の改善と働き方改革で、相殺かと思われます。	

現状	分野	地区	業種	理由
変わらない	企業	下北	食料品製造	売上等の数字がほぼ同じレベルで推移している。
		雇用	東青	新聞社求人広告
	津軽		新聞社求人広告	正月以降、取引業者から景気の良い話があまり聞かれない。
やや悪くなっている	家計	東青	商店街	・客数の減少。 ・客単価は、変化無し。
			観光名所等	若い人の就職は厳しい状況にあると聞いている。雇用条件も満足できる内容になっていないとも聞いている。
			競輪場	3カ月前と比較すると入場人数が - 200人くらい。1人あたりの購買額も1,500円下がっている。
			住宅建設販売	消費税増税、各種食料品等の値上げによる、財布のヒモが固くなっている感じを受ける。
	津軽	衣料専門店	売れない。単価が低い。	
		卸売業	秋から冬が忙しい業界のため。	
		スナック	統一地方選挙がある為。選挙の年は景気は悪くなる。	
		観光名所等	食品等値上がりが目立つ。新元号や連休がどう影響するか？	
		旅行代理店	取引先が不況の為、旅行を控えている。	
		設計事務所	住宅等の設計件数が時期的に例年より多い。	
		県南	百貨店	八戸市の基幹産業である水産業が漁獲量の低下及び相場高騰により浮上の見通しがたたないため。
	一般飲食店		あまりに異常な天候不順で客足が伸びない。昨年との温度比較も本年は高低差がひどい。この状況ではアップするには難しい感がある。	
	レストラン		平日の街の人通り、週末の夜の人の出方、他店の店主からの意見も含め、昔みたいに人が出ていない。	
	観光名所等		客入数、売上共減少が続いているため。	
	タクシー		4月は年度末から年度初めということで、仕事がなくなっている。	
	下北	スーパー	売上が下りぎみ。	
	企業	東青	食料品製造	経費の負担が重く大手のように単価を上げたいところですが、なかなか、上手くいかない。
経営コンサルタント			金融機関から条件変更を受けている先について、想定以上に収益(売上)を確保できない先が多くなっている。	
県南		電気機械製造	中国の景気減速で日本の輸出額が減っており日本国内の仕事量も少なくなっている。取引先の多くが仕事探しを始め、納期も短くなっている。	
雇用		県南	人材派遣	人材不足が顕著で、事務に支障が出ている企業がある。
悪くなっている	家計	県南	コンビニ	近隣の会社による大型投資設備投資の終了。
		下北	一般小売店	消費税増税が10月に迫り、生活防衛に入ってしまったのか、客足が鈍く、売上減少。

(2) 景気の先行き判断理由

先行き	分野	地区	業種	理由
良くなる	家計	東青	一般飲食店	元号が変わることや、その他10月の増税などでいろいろ消費活動が活発になっているように思う。
			津軽	一般小売店
		商店街		4月から夏にかけ「さくらまつり」などの大きなイベントが続くので景気は期待できる。
	企業	津軽	電気機械製造	夏場に向けて2019年度モデルコネクタ部品の生産が増加するため。
やや良くなる	家計	東青	コンビニ	暖かくなって色々なイベントが増していくので良くなってほしい。
			衣料専門店	青森市役所駅前庁舎がオープンしたことから足踏み状態の開発物件が毎年のように完成し景況は非常に良い、全体の景気は「やや良くなっている」と思いますが、当商店街の大型店が再開で5月から解体が始まる予定、商店街一帯の4年間はかなり影響を受けると思われる。
			一般小売店	観光客増、増税前需要。
			商店街	今後ゴールデンウィークを中心に、イベント、集客upを実施する。
			レストラン	ゴールデンウィークに期待。
			旅行代理店	新元号効果も有り良くなっていると思います。
		津軽	コンビニ	桜が咲くと人が動く様になるので、売上に期待したい。
			百貨店	新しい元号により、いくぶん景気回復になると思われる。
			家電量販店	増税前の駆け込み需要。
			都市型ホテル	材料は少ないが期待込みで。
			観光名所等	大型連休。
			住宅建設販売	消費税up駆け込みと、10月以降の住宅関連税優遇措置への期待が高い。
	県南	百貨店	10月増税前の駆け込み需要が期待できるため。	
		衣料専門店	改元でのムード浮揚感、増税に向けた需要の先食いが9月末までは起こると思われる為。	
		家電量販店	消費税が上がる前の駆け込みが予想される為。	
		商店街	元号が決まり、ムードが良いように感じる。	
		卸売業	改元、キャッシュレスにより国をあげてポイント還元倍増etc. おどられ感がある。その後の実質的な増税で冷えびえするのでは？	
		設計事務所	ここ3か月で少し落ち込んだ跳ね返りがあるのではと考えている。	
		住宅建設販売	消費税増税前は続くと思われる。	
		下北	コンビニ	時期的にみなさん外に出やすくなる。外に出るとお金を使ってくれる機会が増える。
	都市型ホテル		GW期間中の婚礼予約が例年よりは多く、又、10連休での宿泊予約も順調です。	
	ガソリンスタンド		ゴールデンウィークや観光シーズンがはじまり、多少なりとも来訪者が増えると思われるので。	

先行き	分野	地区	業種	理由
やや良くなる	企業	東青	広告・デザイン	消費税増税に伴う駆け込み需要。
			津軽	経営コンサルタント 弘前城の桜、大型ゴールデンウィークに向かって観光客や帰省客も増え、消費が増えてくるものと考えられる。
		県南	飲料品製造	元号が新しくなり、お祝いのムードが感じられ、新元号を冠した商品など多少の動きが期待でき、他商品の消費にもつながる。
			経営コンサルタント	消費税増税前の駆け込み需要がある程度予想できる。また、その後も増税に対するポイント付与などの景気対策で、一時的な消費税特需が起これると思います。
		下北	食料品製造	4～5月の10連休に期待して。
	雇用	東青	新聞社求人広告	新元号への切り替わりで、購買意欲の高まり、商戦の活発化に期待しています。
		県南	新聞社求人広告	新天皇陛下即位、屋内スケート場完成など明るい出来事が多く、景気が上向くことを願います。
変わらない	家計	東青	百貨店	値上げラッシュや景気が不透明なため。
			乗用車販売	3カ月では特に変化しないと思う。
			卸売業	期待したい。
			スナック	これから花見や夏のねぶたなどといったイベントで賑わう時期が来るが、近隣の飲食業の様子などを見ていると閑散としているところも多く、厳しさは依然として変わらないようだ。
			観光名所等	外国人観光客は増加しているが、国の政策、県の交通受入体制が大きく関わっていることから、民間で景気をアップさせることは厳しい。
			タクシー	変わらないという回答はすなわち3ヶ月前も今も既に「景気は悪い」状態であって、これから先に何がしかの期待が持てる要素も感じ取れない。
			美容院	店が古いので新規の方がなかなか来ない。
		設計事務所	選挙が終わり、盛り上がり、変化など起きるような気配なし。景気も変わらぬまま推移しそうです。	
		津軽	スーパー	元号が変わり景気が上向きに期待はできるが、人口減、高齢化により小売店は相殺されると思う。
			スナック	桜見シーズンを迎える為。
			パチンコ	特に変化がないから。
		県南	一般飲食店	良く分からないが、年号変更による特需が見込まれると思うが、どれくらいの期間見込まれるかは、不透明だと思う。
			レストラン	10連休で皆、買い物、飲み代も節約するであろう。カードの支払の事も考えると、連休明けの日から翌月の給料日までヒマになる。
			スナック	外部の人が入ってきているので、八戸の人は変わらない。
	観光名所等		集客できるような品物に変化がないため、このままの状態が続く見込み。	
	旅行代理店		人手不足とガソリン価格一定水準による。	
	タクシー		新規の仕事に期待をしたいけれども、10連休がボディブローのように効いて、あまり上向かないのではないか。	
	美容院		統一選挙、消費税UPの件、そして新元号の件も、経済や景気にあまり良い刺激にならない様に感じます。	
	ガソリンスタンド	消費増税を控え、多少の駆け込み需要は発生するものと思われるが、景気を左右するほどの動きになるか疑問。		
		下北	一般飲食店	他の店もやめている所もあり、シャッター通りが多く、減っても増える見込みなし。

先行き	分野	地区	業種	理由
変わらない	企業	東青	建設	公共事業関連予算は増えるが青森県には影響がない。事業(予算)を積極的に「取りに」行かないと仕事は生まれにくい。
			経営コンサルタント	新聞等で景気判断についてネガティブなものが増えているが、株価については落ち着いている。また元号改正により一部お祝いムード(ポジティブ)のニュースもあり、景気は現状にとどまると考える。
		津軽	食料品製造	消費税の増税を控えて、ムダなものは買わない。
		県南	食料品製造	今の傾向は秋の消費増税まで大きく改善の期待は出来ないため。
	広告・デザイン		新年号になったことでビジネスチャンスがあるだろうと考えている部分があったが、特別そんなこともない。	
雇用	津軽	新聞社求人広告	GW10連休、令和への時代の転換で商戦が過熱する首都圏と違い、地方ではその効果も一時的で長続きしないと思うから。	
やや悪くなる	家計	東青	都市型ホテル	仕入価格の上昇が見込まれ、また人材不足の継続によるコストの増加が懸念される。
			住宅建設販売	消費税10%が近づくとつれ、顧客心理にストップがかかる。
		津軽	一般飲食店	働き方改革で残業が減った分収入も減り、消費も減る。
			観光型ホテル・旅館	GW明けからの動きがとてにぶいです。
			旅行代理店	・公共事業が少なく、取引先の建設業が苦戦している。 ・人口減による修学旅行の収入が減少。
			美容院	日用品や食料品の値上げが少しずつ気になってくる。
		設計事務所	土木建設費の市の本年度予算が前年より16%程度引下げになり、建設業者の売上高にも影響が大きいと感じる。	
	県南	一般小売店	もしこのまま消費税が10%になるのなら、8月9月は駆け込み需要、5, 6, 7月は買い控えとなる。前回5→8%の時がそうであった。	
	下北	スーパー	下北は今後もやや下りぎみで推移しそう。	
		レストラン	今後10月の消費税に対しどうなるか、分からない。	
	企業	津軽	広告・デザイン	建築工事関連の仕事が少なく、先行き不安な状況。見積り依頼件数も減少している。
			県南	電気機械製造
		建設		4月から食品等の値上げラッシュ、10月からの消費税UP、高齢化社会が進んで地方の空家も多くなり、発展の兆しは見当たらない。
雇用	津軽	人材派遣	最近では周辺の方と、10月の消費税増税を話題にあげることが多いが、多くの方が増税された分、消費を控えるという。たいした所得が増えていないのに増税となるので無理もないと思う。2014年4月の5%から8%へ増税の時のように消費が冷え込まないか、とても心配。	
	県南	人材派遣	人材不足が顕著で、事務面に支障が出ている企業がある。	
悪くなる	家計	津軽	衣料専門店	・弘前に住んでいる人が不景気だと言う。 ・売上に結び付ける国の政策がない。
		県南	コンビニ	新大橋通行止めによる外的要因によるもの。
		下北	一般小売店	ただでさえ、景気があまり良くないのに、5%→8%に増税になった時と同じで、しばらく消費が落ち込むと思います。

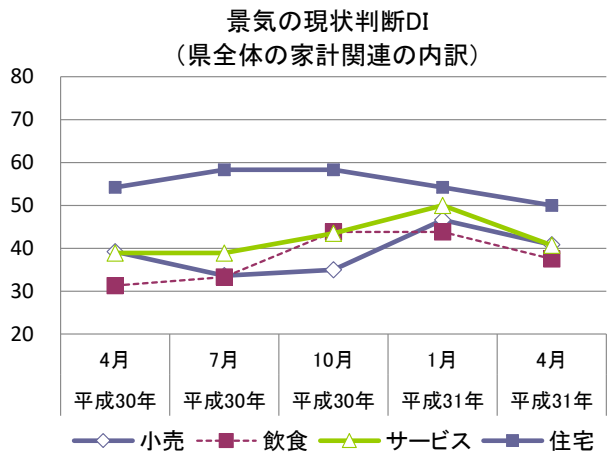
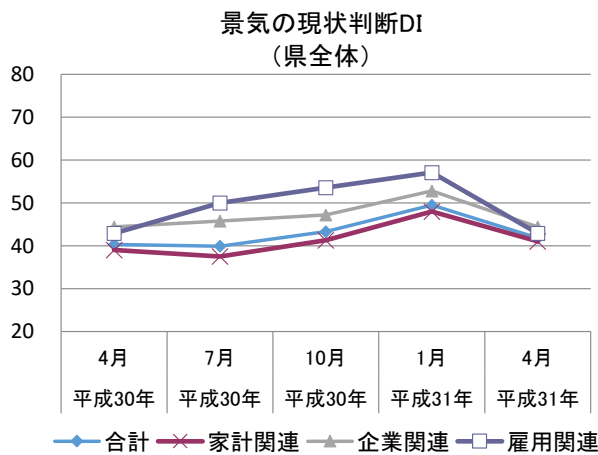
5. 参考

(参考1) 景気の現状判断

①DI

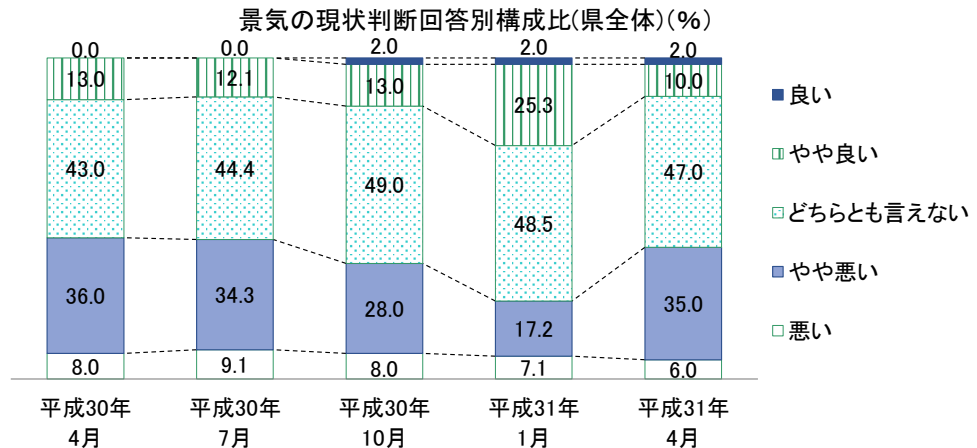
n = 100

	平成30年 4月	平成30年 7月	平成30年 10月	平成31年 1月	平成31年 4月	前期調査 との差
合計	40.3	39.9	43.3	49.5	41.8	▲ 7.7
家計関連	39.0	37.5	41.3	48.0	41.0	▲ 7.0
小売	39.2	33.6	35.0	46.6	40.8	▲ 5.8
飲食	31.3	33.3	43.8	43.8	37.5	▲ 6.3
サービス	38.9	38.9	43.5	50.0	40.7	▲ 9.3
住宅	54.2	58.3	58.3	54.2	50.0	▲ 4.2
企業関連	44.4	45.8	47.2	52.8	44.4	▲ 8.4
雇用関連	42.9	50.0	53.6	57.1	42.9	▲ 14.2



②回答別構成比 (%)

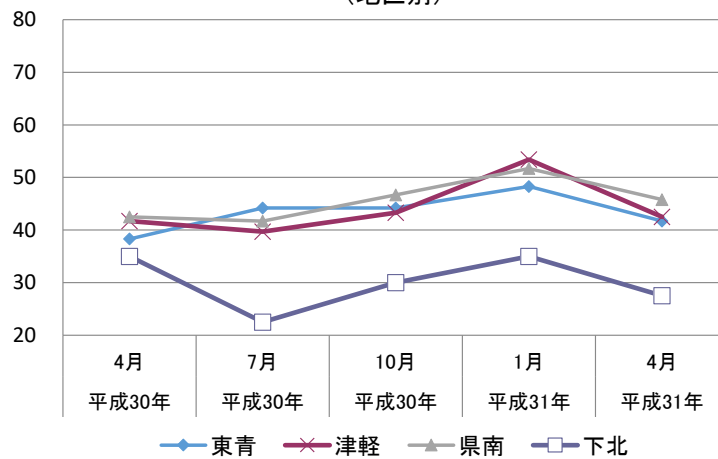
	平成30年 4月	平成30年 7月	平成30年 10月	平成31年 1月	平成31年 4月	前期調査 との差
良い	0.0	0.0	2.0	2.0	2.0	0.0
やや良い	13.0	12.1	13.0	25.3	10.0	▲ 15.3
どちらとも言えない	43.0	44.4	49.0	48.5	47.0	▲ 1.5
やや悪い	36.0	34.3	28.0	17.2	35.0	17.8
悪い	8.0	9.1	8.0	7.1	6.0	▲ 1.1



③地区別DI

	平成30年 4月	平成30年 7月	平成30年 10月	平成31年 1月	平成31年 4月	前期調査 との差
合 計	40.3	39.9	43.3	49.5	41.8	▲ 7.7
東青	38.3	44.2	44.2	48.3	41.7	▲ 6.6
津軽	41.7	39.7	43.3	53.4	42.5	▲ 10.9
県南	42.5	41.7	46.7	51.7	45.8	▲ 5.9
下北	35.0	22.5	30.0	35.0	27.5	▲ 7.5

景気の現状判断DI
(地区別)



(参考2) その他自由意見

分野	地区	業種	自由意見
家計	東青	コンビニ	特に動きはみられないです。
		百貨店	競合店の休業。
		スーパー	新元号になることにより、今後どうなるか。良くなることを期待。
		衣料専門店	中心街区は開発物件が毎年のようにオープンしており賑やかだ。キャッシュレス化が叫ばれ商店は端末等の設置が急がれている。春の連休に中心商店街で開催されるイベントでQRコード決済業者から協賛をいただき普及に拍車がかかっている。
		一般小売店	街なかにおける冬季の外国人観光客が昨年より少なく感じました。
		一般飲食店	4月で大型店が一時休業に入りますが、その影響が市内中心街にどのようなものがあるのか少し気になります。
		レストラン	人口の減少は進んでいるので、何とか観光シーズンに県外のお客様を呼び込めるような努力やアイデアが必要になるだろう。いや、していかななくては。
		観光型ホテル・旅館	青森駅舎建替や中心市街地のインバウンド増加等期待感を感じる。
		タクシー	平成が令和に変わるといってネタに困ったメディアが大騒ぎで取り上げているだけで県民の実生活とは何の連動性も感じられない。既に諸物価は高騰している上、特に地方都市は人手不足と高齢化も著しく、また今後の消費増税を考えればお先の展望は決して明るいと言えないのが残念。
		住宅建設販売	税金、各種値上げがあっても給与は上がらない。
津軽		一般小売店	当業界はインバウンドによる売上の伸びが大きかったが、昨年秋頃から外国人観光客は増えていても、買物する人が減少している。
		商店街	消費税増税やキャッシュレス決済の対策が店舗によってかなりの温度差がある。
		スナック	新元号になり変化も期待しますが、消費税10%になるので消費が減退する気がしません。
		観光名所等	働き方改革のしわ寄せ？
		住宅建設販売	消費税up駆け込みと、10月以降の住宅関連税優遇措置への期待が高い。
県南		百貨店	増税後の国の対策の効果を疑問視する声が多く、年末への影響を心配する取引先がほとんどである。
		衣料専門店	キャッシュレス決済が普及するイメージが地域経済としては感じられない。
		一般小売店	現在の場所で商売をして30年を超えたが、今が過去最悪の状況だと判断している。老舗の洋品店の倒産、ホテルの休業、ファストフード店の撤退と今が空店舗率過去最高の中心商店街である。
		卸売業	八戸にはコーヒー店などの進出があり、都会っぽくはなるが、地元の店はどうなるのか心配。やはり、地元の方々が閉店するのを見るのは辛いですね。
		一般飲食店	行政では、色々新しい取組を行っているが、市民に直接寄与しているか？外に一所懸命だが足元はどうか。
		レストラン	社長が言っていました。今年50才、30年前の宴会単価1人4000円、消費税がゼロから8%、10%になろうとしているこの時代、材料費、人件費、その他の値段は上がっているのに、居酒屋の宴会単価は下がっている。おかしな事だと。このままだと飲食店は半分つぶれるだろうと。
		スナック	もっと、八戸のJV、八戸の企業を使うように。
		タクシー	今年のゴールデンウィークの10連休で、中小企業、パートの人達はどうしたらいいのかと悩んでいる。
		美容院	街中や買い物客を見ていると、確実に少子高齢化が進んでいるのがわかります。欲しいものより、最少必要な物だけが動く様な商売が目につきます。
		ガソリンスタンド	県内の人口流出、人手不足、消費税増税等々課題は多いが、有効的な解決策が見出せないのが現状。

分野	地区	業種	自由意見
家計	下北	コンビニ	ムダなお金を使わないようにしている感じを受ける。
		一般飲食店	こちらの主人もいい所でやめたいと申しております。
企業	東青	建設	新しい時代への期待が高まる。昭和～平成時代とは違う「個」が「創造性を発揮」できる時代となって欲しい。地方が生き残って行く為には都市の10倍がんばるしかない。
		津軽	飲料品製造
	津軽	建設	平成もあと半月となり、何か、さびしさも感じる。元号・令和が始まる事に伴い、気分も少し高揚する。令和と共に、仕事・健康もよりよい1年になってほしい。
		広告・デザイン	都内への出張で感じたことですが、オリンピック関連の工事で活性化されており、多様な業種にその恩恵が有ると思われる。
		県南	電気機械製造
	建設		スーパーの再編や出店、営業時間の短縮など、地域経済に関与する動きが見受けられる。
	経営コンサルタント		消費税特需後の景気の冷え込みが問題ですね。どこまで緩和できるか。
広告・デザイン	企業が新分野に進出する傾向があるが、逆に言うと本業で利益を上げるのが厳しくなっているということはある。		
雇用	東青	新聞社求人広告	消費税引上げを意識した動きが目につくようになってきました。

青森県景気ウォッチャー調査について

1. 調査の目的

統計データには表れないきめ細かな生活実感のある情報を収集し、県内景気動向判断の基礎資料とする。

(1) 調査の範囲

県内を東青地区、津軽地区、県南地区、下北地区の4地区に分け、各地域における経済活動の動向を敏感に観察できる業種の中からおよそ30業種を選定し、そこに従事する100名を調査客体とする。

○地域別・分野別の客体数

地区	対象地域	調査客体数			
		合計	家計	企業	雇用
東青	青森市とその周辺部	30	23	4	3
津軽	弘前市、黒石市、五所川原市とその周辺部	30	22	6	2
県南	八戸市、十和田市、三沢市とその周辺部	30	21	7	2
下北	むつ市とその周辺部	10	9	1	0
		100	75	18	7

○分野別の業種・職種

家計関連	小売	コンビニ、百貨店、スーパー、乗用車販売、衣料専門店、家電量販店、一般小売店、商店街、卸売業
	飲食	一般飲食店、レストラン、スナック
	サービス	観光型ホテル・旅館、都市型ホテル、観光名所等、旅行代理店、タクシー、美容院、パチンコ、競輪場、ガソリンスタンド
	住宅	設計事務所、住宅建設販売
企業関連	食料品製造、飲料品製造、紙・パルプ製造、電気機械製造、建設、経営コンサルタント、広告・デザイン	
雇用関連	人材派遣、新聞社求人広告、求人情報誌	

(2) 調査事項

- ① 3カ月前と比べた景気の現状判断とその理由
 - ② 3カ月後の景気の先行き判断とその理由
- 参考1 景気の現状判断
参考2 その他自由意見

(3) 調査期日等

四半期に一度（1月、4月、7月、10月）実施し、翌月初旬に公表。

2. DIの算出方法

景気ウォッチャー調査におけるDI(ディフュージョン・インデックス)は、景気ウォッチャーによる景気の現状・先行き判断を示す指標で、以下の方法により算出している。

景気の現状または先行きに対する5段階の判断に以下の点数を与え、これらに各判断の構成比(%)を乗じ算出する。

評価	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
点数	1	0.75	0.5	0.25	0

※ 回答者全員が(景気は)「変わらない」と回答した場合、DIは50となるため、50が景気の方角性をあらわす目安となる。

(本調査についてのお問い合わせ先)

〒030-8570 青森県企画政策部統計分析課 統計情報分析グループ
TEL 017-734-9166 (直通) FAX 017-734-8038